

## 第24回夏季デフリンピック競技大会（水泳）日本代表選手選考基準

2020年12月29日

選考委員会決定

### 1 基本方針

全ての種目において、デフリンピック参加標準資格を満たしている者の中から、どのような環境におかれても、自己管理ができ、最大のパフォーマンスを発揮できる選手を選考することを基本とする。

また、競技成績に加えて、全日本ろうあ連盟への会員登録及び（一社）日本ろう者水泳協会への競技会参加会員登録をし、かつ編成方針を遵守できる選手を選考する。

### 2 選考の対象となる大会

- (1) 2021年3月6日（土）～7日（日） 第37回日本パラ水泳選手権大会
- (2) 2021年5月21日（金）～23日（日） 2021ジャパンパラ水泳競技大会
- (3) 2021年6月 日本知的障害者選手権水泳競技大会

※（3）の大会については、日程等決定した後に追記する。

上記3大会全てを選考の対象とする。

デフリンピックへの出場を目指す選手は、原則として上記3大会には必ず出場すること。

（2021年4月からの新規競技会参加会員は、登録後にエントリーできる上記大会には全て出場すること）ただし、コロナ禍の影響により、出場が困難な場合は、速やかに申し出るとともに状況の説明をすること。

また、個人種目において、目指す種目が対象大会に設定されていない場合も、リレーの選考を行うため、該当種目に出場をすること。なお、対象大会に設定されていない個人種目においては、2021年6月末までに開催された（公財）日本水泳連盟及び各都道府県の公認大会での記録を参考にすることがある。

### 3 選考手続き

選考委員会が、2021年6月の日本知的障害者選手権水泳競技大会終了後の7月初めまでに、後記選考基準を満たした選手から選考する。

### 4 選考基準

#### (1) 個人種目

- ①別表の第24回デフリンピック競技大会派遣標準記録（以下「派遣標準記録一覧」という）の「派遣A入賞ライン」欄のタイム（2017第23回夏季デフリンピック競技大会及

び 2019 第 5 回世界ろう者水泳選手権大会の決勝 8 位を比較し、速い方のタイム) を突破した選手を選考する。

※出場者(チーム)が 8 人を満たない種目は、出場者最下位のタイムとした。

②前項の基準に加え、全日本ろうあ連盟の派遣方針に基づき、中学生までの選手で、「派遣 B 決勝進出ライン」欄のタイム(2019 第 5 回世界ろう者水泳選手権大会の予選 10 位のタイム)を突破した選手は、次世代の強化育成を目的に選考する。

※決勝進出者 8 名とリザーブ(補欠) 2 名を想定し、予選 10 位のタイムとした。

## (2) リレー種目

「リレー派遣標準」は、別表「派遣標準記録一覧」の「派遣 A 入賞ライン」とする。4 人のタイムの合計が「派遣 A 入賞ライン」を突破した場合、リレーに出場することを条件として選考委員会を選考する。